

2019年3月期 通期 決算説明会資料



2019年6月4日
株式会社昭文社
証券コード:9475

資料の内容

- | | | |
|---|----------------------|--------|
| 1 | 2019年3月期 通期 連結決算概要 | P3-11 |
| 2 | 2020年3月期 通期 連結業績の見通し | P12-15 |
| 3 | 参考資料 | P16-18 |

【本資料の記載数値・内容について】
百万円未満は切り捨てております。
%表示は小数第1位未満を四捨五入しております。

【本資料の内容についてのお問い合わせ先】
株式会社昭文社 執行役員管理統括本部長 加藤 弘之
電話 03(3556)8171

資料の内容

1 2019年3月期 通期 連結決算概要

2 2020年3月期 通期 連結業績の見通し

3 参考資料

2019年3月期 通期 連結決算概要

主に地図商品の売上が減少し、売上高は減収したものの、構造改革による売上原価の減少により営業・経常利益は改善。前期を超える減損損失の計上により純利益は悪化

	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	増減額	増減率	2019年3月期 (通期予想)	増減額
売上高	9,158	8,770	-388	-4.2%	9,340	-569
営業利益 (売上高比、以下同)	-1,060 -11.6%	-655 -7.5%	405	-	-305 -3.3%	-350
経常利益	-1,018 -11.1%	-590 -6.7%	427	-	-240 -2.6%	-350
親会社株主に帰属する 当期純利益	-1,768 -19.3%	-1,815 -20.7%	-46	-	-635 -6.8%	-1,180
1株当たり当期純利益 (円)	-97.28	-99.85	-2.57	-	-34.93	-

※上記予想は2018年12月13日発表

2019年3月期 通期 分類別売上高(前期比較)

電子売上は、カーナビゲーション関連の売上減少があったものの下げ止まりの傾向、市販出版物は、返品額が減少したものの地図、雑誌の売上減少により減収

単位:百万円

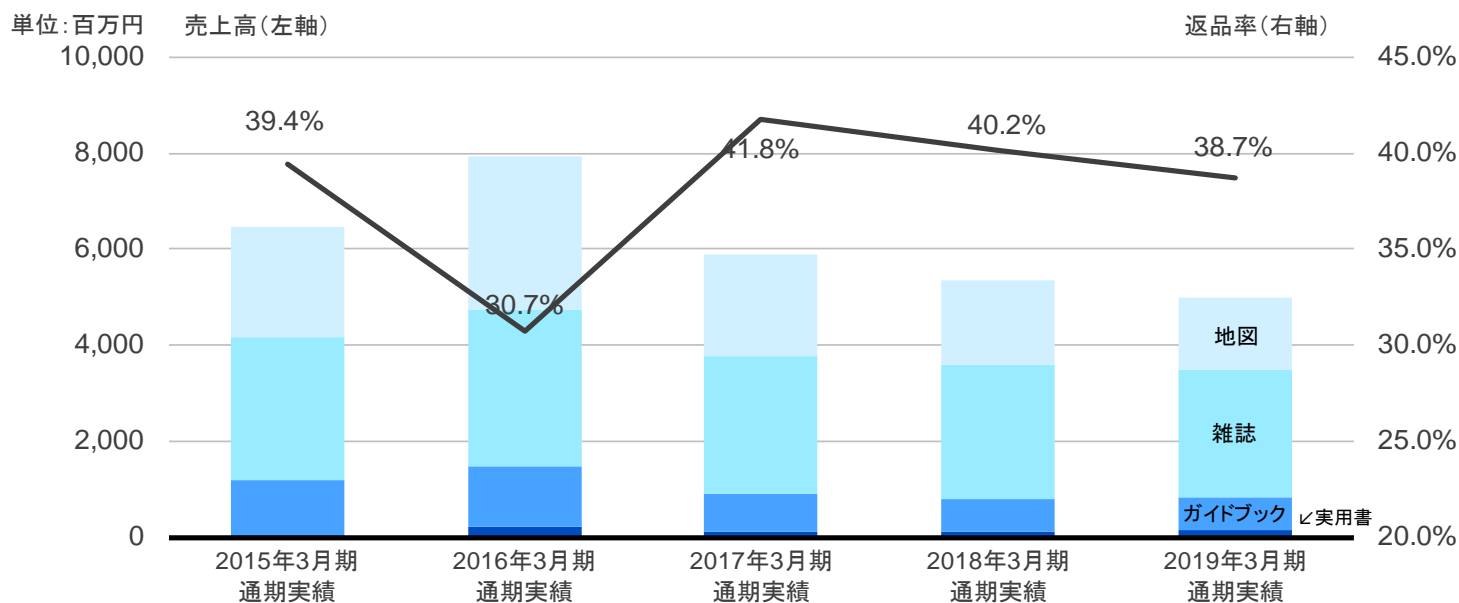
	2018年3月期通期		2019年3月期通期		増減額	増減率
	実績	構成比	実績	構成比		
電子売上	2,319	25.3%	2,269	25.9%	-50	-2.2%
手数料収入	72	0.8%	209	2.4%	137	189.2%
市販出版物合計	5,372	58.7%	4,992	56.9%	-379	-7.1%
地図	1,787	19.5%	1,500	17.1%	-286	-16.0%
雑誌	2,804	30.6%	2,658	30.3%	-145	-5.2%
ガイドブック	666	7.3%	677	7.7%	10	1.5%
実用書	113	1.3%	156	1.8%	43	38.0%
特別注文品	624	6.8%	622	7.1%	-1	-0.3%
広告収入	770	8.4%	676	7.7%	-94	-12.2%
合計	9,158	100.0%	8,770	100.0%	-388	-4.2%

2019年3月期 通期 ハイライト

- カーナビゲーション関連、地図配信サービスの売上減少により、電子売上は前期に比べ50百万円減少
- 市販出版物は返品抑制のため市場在庫管理を徹底したことにより、返品額は4億56百万円減少したものの、地図商品の売上減少や前年に雑誌商品の新シリーズ発売があった影響を受け、前期に比べ3億79百万円減少
- 特別損失として、希望退職者の募集に伴う特別退職金4億13百万円、減損損失7億51百万円を計上
- 2018年6月にコールセンター事業を営む株式会社Kuquluを買収
- 2018年9月にアクティビティ催行及びリゾート施設の運営を目的としてグアムにGUAM OCEAN PARK CORPORATIONを設立
- さらなる構造改革に向けて、希望退職者の募集を実施

2019年3月期 通期 市販出版物売上高・返品率の推移

返品抑制のため市場在庫管理を徹底したことにより、返品額が減少したため、返品率は改善



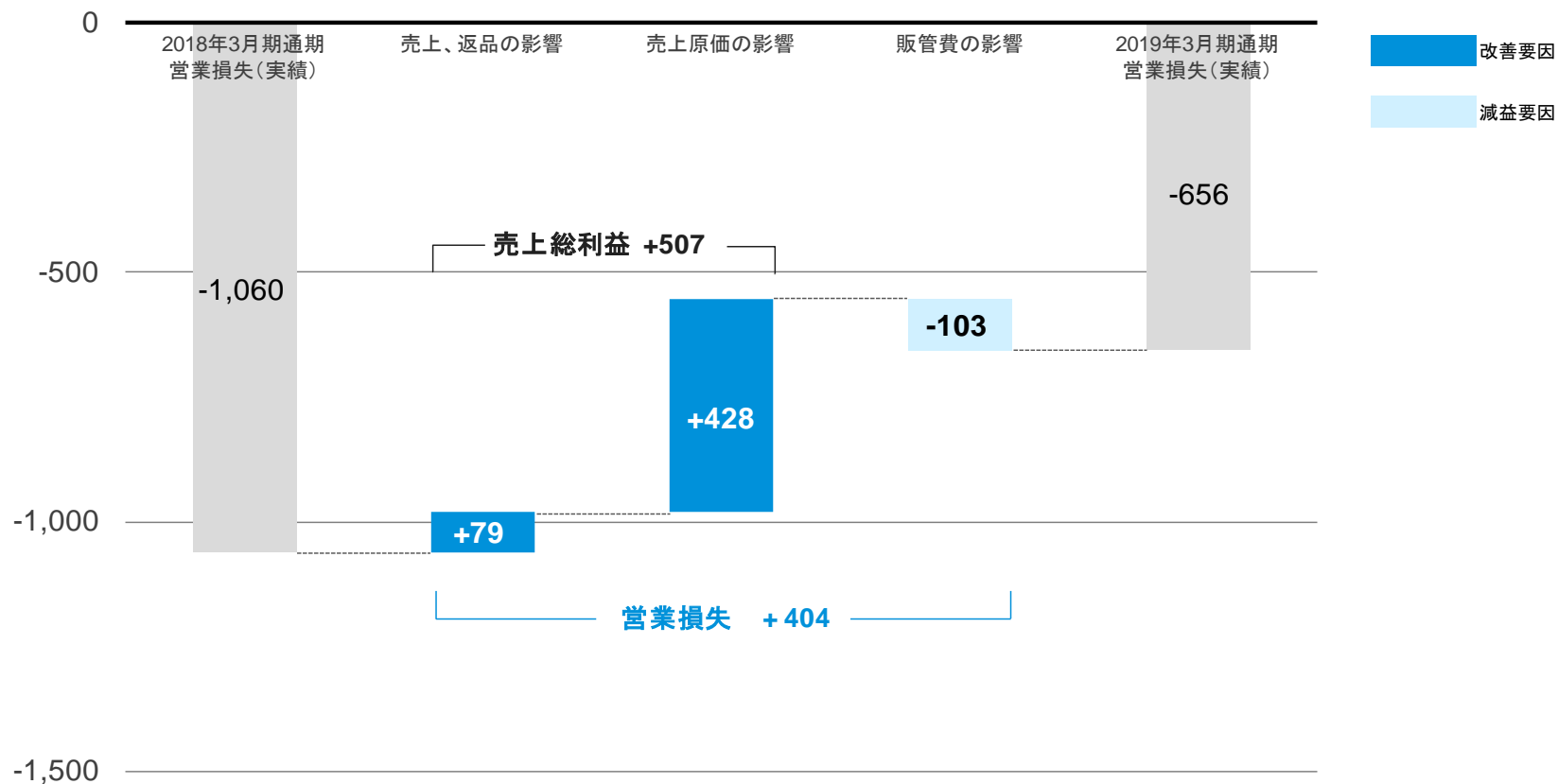
単位：百万円

市販出版物売上高合計	6,472	7,950	5,876	5,372	4,992
地図	2,318	3,206	2,086	1,787	1,500
雑誌	2,949	3,281	2,876	2,804	2,658
ガイドブック	1,173	1,246	811	666	677
実用書	31	214	102	113	156
市販出版物返品率	39.4%	30.7%	41.8%	40.2%	38.7%

2019年3月期 通期 営業損益の増減分析(前期比較)

売上が減少したものの、事業構造改革の継続により売上原価が減少、新たに連結子会社が増えたことによる販管費の増加はあったが、営業損失は改善

単位:百万円



2019年3月期 通期 販管費・設備投資額・償却費の状況

販管費は海外子会社の設立などに伴い、前期比で1億3百万円の増加。設備投資は主に旅ナカ事業強化のためのシステム投資を実施

単位:百万円

	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	増減額	増減率
売上高	9,158	8,770	-388	-4.2%
販管費合計	3,193	3,297	103	3.2%
販売促進費	86	85	0	-1.0%
広告宣伝費	109	89	-19	-18.1%
従業員給与・賞与	1,128	1,223	95	8.4%
賞与引当金繰入額	166	119	-47	-28.3%
減価償却費	88	86	-1	-2.1%
研究開発費	41	14	-26	-64.5%
その他	1,573	1,678	105	6.7%
設備投資額合計	361	232	-128	-35.6%
有形固定資産	54	45	-8	-15.6%
無形固定資産	307	187	-120	-39.1%
償却費合計	436	136	-299	-68.7%
有形固定資産	128	123	-5	-4.1%
無形固定資産	307	13	-294	-95.7%

2019年3月期 通期 連結貸借対照表

親会社株主に帰属する当期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少により、株主資本が減少

単位:百万円

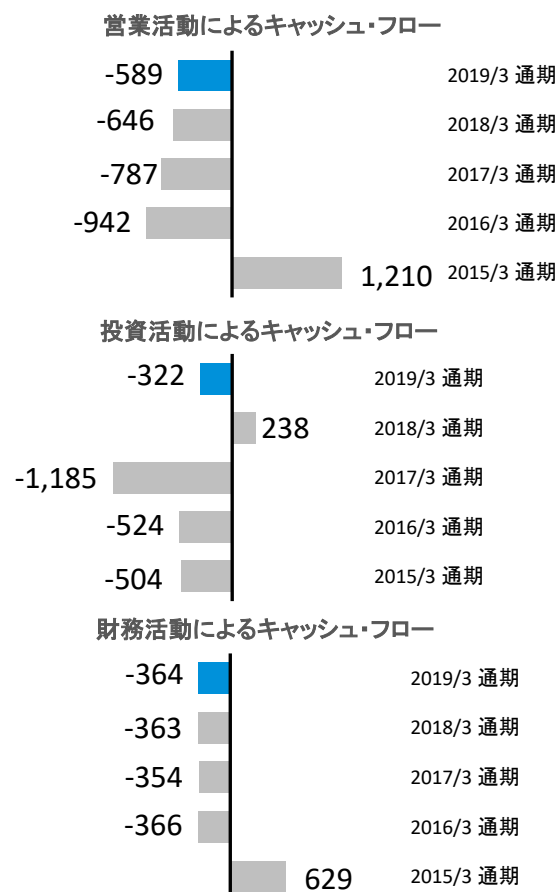
	2018年3月期末		2019年3月期末		増減額	増減主要因
	実績	構成比	実績	構成比		
資産合計	22,188	100.0%	19,695	100.0%	-2,492	
流動資産	12,378	55.8%	10,547	53.6%	-1,830	現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品及び製品の減少
固定資産	9,810	44.2%	9,147	46.4%	-662	
負債合計	4,575	20.6%	4,408	22.4%	-167	
流動負債	3,708	81.1%	3,622	82.2%	-86	
固定負債	866	18.9%	786	17.8%	-80	
純資産合計	17,612	79.4%	15,286	77.6%	-2,325	
株主資本	16,828	95.6%	14,649	95.8%	-2,178	親会社株主に帰属する当期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少、配当金の支払による資本剰余金の減少
その他の包括利益累計額	758	4.3%	611	4.0%	-146	
新株予約権	26	0.1%	25	0.2%	0	
負債・純資産合計	22,188	100.0%	19,695	100.0%	-2,492	

2019年3月期 通期 連結キャッシュ・フロー計算書

税金等調整前当期純損失計上を主な要因として営業キャッシュ・フローはマイナス。また、前期にあった有価証券の償還による収入がなかったため投資キャッシュフローもマイナス。

単位:百万円 キャッシュ・フロー 過去5年間推移 単位:百万円

	2018年 3月期 通期実績	2019年 3月期 通期実績	増減額	増減主要因
営業活動による キャッシュ・フロー	-646	-589	57	減損損失 +407 貸倒引当金の増減額 -293 売上債権の増減額 -282
投資活動による キャッシュ・フロー	238	-322	-561	前期にあった有価証券の償還による収入が当 期なかったことによる影響 -500
財務活動による キャッシュ・フロー	-363	-364	0	
現金及び 現金同等物に係る 換算差額	4	-10	-14	
現金及び 現金同等物の 増減額(－は減少)	-767	-1,286	-518	
現金及び 現金同等物の 期末残高※	7,132	5,845	-1,286	



資料の内容

1 2019年3月期 通期 連結決算概要

2 2020年3月期 通期 連結業績の見通し

3 参考資料

2020年3月期 通期 連結業績の見通し(前期比較)

旅マエで独創的な新製品やロングセラーを目論むシリーズ企画出版を継続し、旅ナカでは新たにリアルサービスを開始、また民間・公共ニーズに対応するソリューションを強化して黒字化を目指す。

	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期予想	増減額	増減率
				単位: 百万円
売上高	8,770	9,070	299	3.4%
営業利益 (売上高比、以下同)	-655 -7.5%	120 1.3%	775	-
経常利益	-590 -6.7%	210 2.3%	800	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-1,815 -20.7%	200 2.2%	2,015	-
1株当たり当期純利益 (円)	-99.85	11.00	110.85	-
設備投資額合計	232	305	72	31.0%
有形固定資産	45	65	19	42.4%
無形固定資産	187	240	52	28.3%
償却費合計	136	115	-21	-15.5%
有形固定資産	123	95	-28	-23.0%
無形固定資産	12	20	7	57.8%
研究開発費	14	20	5	35.3%

2020年3月期 通期 分類別売上高の見通し(前期比較)

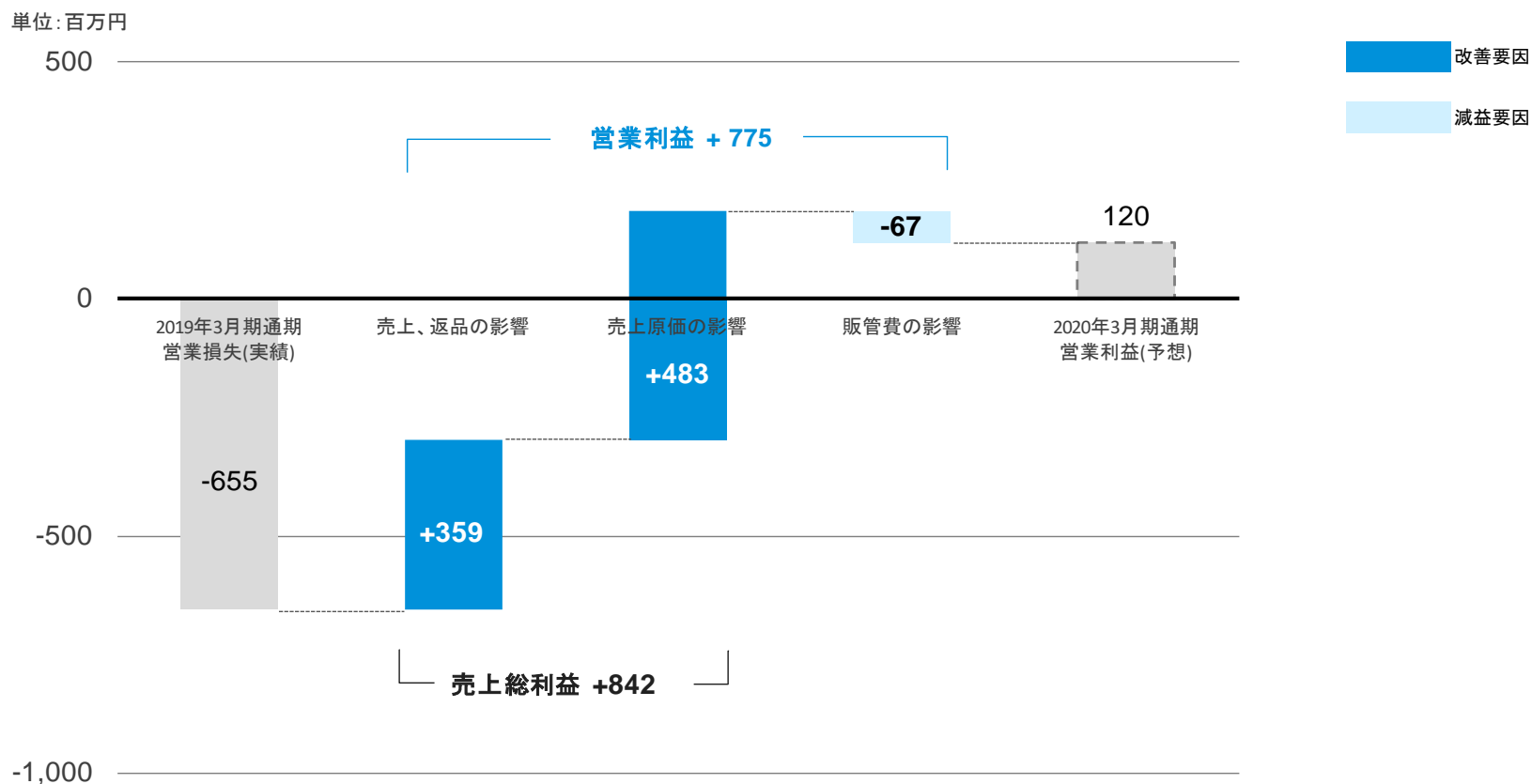
旅ナカ事業である手数料収入と施設収入で売上増の見込

単位:百万円

	2019年3月期通期		2020年3月期通期		増減額	増減率
	実績	構成比	予想	構成比		
電子売上	2,269	25.9%	2,205	24.3%	-64	-2.8%
手数料収入	209	2.4%	395	4.4%	185	88.4%
施設収入	-	-	265	2.9%	265	-
市販出版物合計	4,992	56.9%	4,835	53.3%	-157	-3.2%
地図	1,500	17.1%	1,475	16.3%	-25	-1.7%
雑誌	2,658	30.3%	2,560	28.2%	-98	-3.7%
ガイドブック	677	7.7%	665	7.3%	-12	-1.8%
実用書	156	1.9%	135	1.5%	-21	-13.7%
特別注作品	622	7.1%	700	7.7%	77	12.5%
広告収入	676	7.7%	670	7.4%	-6	-0.9%
合計	8,770	100.0%	9,070	100.0%	299	3.4%

2020年3月期 通期 営業利益の増減分析(前期比較)

引き続き事業構造改革の実施による効率化とグローバル事業の売上拡大により、営業利益黒字達成が目標



資料の内容

- 1 2019年3月期 通期 連結決算概要
- 2 2020年3月期 通期 連結業績の見通し

3 参考資料

当社グループ概要

当社グループは当社、連結子会社8社、持分法適用関連会社1社および持分法非適用関連会社1社の計11社で構成(2019年3月31日現在)

当社	社名	株式会社昭文社			
	創業	1960年5月			
	設立	1964年6月			
	社員数	237人(2019年3月31日現在)			
	上場市場	東京証券取引所 市場第一部			
	本社所在地	東京都千代田区麴町三丁目1番地			
	事業内容	当社グループは、独自開発による地図データ・ガイドデータを中核とし、それを活用した地図・雑誌・ガイドブックの企画・制作及び出版販売や、デジタルデータベースの企画・制作・販売及びそれらを活用したサービスの提供等「地図・旅行情報提供事業」を展開しております。			
連結子会社	社名	株式会社マッフル・オン	株式会社昭文社クリエイティブ	株式会社kuqulu	株式会社トリブコン
	出資比率	100%	100%	100%	100%
	事業内容	モバイル(携帯・スマートフォン)向けアプリケーションソフトの企画開発・販売及びWeb広告事業	当社電子事業であるデータベースの企画・制作	コールセンター事業	旅行関連プラットフォーム提供事業
	社名	SHOBUNSHA HAWAII CORPORATION	SHOBUNSHA GUAM CORPORATION	GUAM OCEAN PARK COPORATION	SHOBUNSHA SINGAPORE PTE. LTD.
	出資比率	100%	100%	100%	100%
	事業内容	現地発着型ツアーの予約事業	現地発着型ツアーの予約事業	現地アクティビティ催行及びリゾート施設の運営	現地発着型ツアーの予約事業

注意事項

本資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは発表日現在において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、多様な要因によって、これらの業績見通しと大きく異なる結果になりうることをご承知おき願います。

これらの業績見通しに全面的に依拠して、投資判断を行うことは控えられますようお願いいたします。